

誓いの言葉

本日は、20歳という人生の節目を迎える私たちのために、このような式を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉を頂きました小相澤副市長をはじめ、ご来賓の方々、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、私たちが上田市立第五中学校を卒業して、5年が経とうとしています。20歳を迎えた私たちの中には、就職をして、仕事に奮闘している人も居れば、学業に励んでいる人など、それぞれの道を進んでいると思います。

私は、目標としている事があります。それは、大学で専攻している中国語等の言語を使って、日本と外国の国交に貢献したい、また、人との関わりを通して、自分を成長させたい、の2つです。今大学で言語の勉強や部活のマネージャーのほか、色々なことに挑戦をしています。親元を離れて生活していく中で、自分の強みや弱さを知り、どうスキルアップしていくか、難しいときもありますが、たくさんの人と関わり、考えを重ねるなかで、自分なりの答えを探していきたいと思っています。そうした生活の中で、みんなが笑顔になってほしい。そんな思いを胸に日々を過ごしています。

皆さんも1人1人夢や目標があると思いますが、それを叶えるためには、自分の力のみならず、周りの人達の協力も重要だと思っています。これまでも、多くの方に支えていただきながら、ここまで歩んできました。その感謝の気持ちを忘れず、大切にしながら進んでいくことが、正しい道だと私は思っています。もちろん、自分を大切にすることも大事です。困難に心が折れそうになる時でも、自分自身を励まし、尊重しながらゴールに向かいたいと思います。

また、近年はSNSなどの普及により、ひと昔前では考えられなかった情報の共有化や新たなコミュニケーションが展開され、便利な世の中となる一方、様々な問題も発生しております。些細なつぶやきによる炎上、誹謗中傷、闇バイトに巻き込まれる若者の増加、といった事件が後を絶ちません。SNSは、役に立つ半面、思いがけない形で自分や他人を傷つけてしまうことがあります。そうなることがないように、正しい取捨選択をする必要があります。20歳を迎えた私たちは、社会的に出来ることが増えますが、その分責任も同時に伴います。固定観念にとらわれ物事を一面的に見るのではなく、色々な方向から見つめて視野を広げ、最善の選択をすることを心がけていきたいです。

最後になりますが、この場をお借りして、今日に至るまで愛情を持って育ててくれた家族や地域の方々、ご指導いただいた先生方、共に学び、かけがえのない大切な時間を過ごしてくれた友人達に、改めて心から感謝を申し上げます。

まだまだ未熟な私たちではありますが、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

この感謝の気持ちと上田市で生まれ育った誇り、そして20歳を迎えての決意を胸に刻み、これからの人生を歩んでいくことをここに誓います。

令和7年1月12日
上野が丘公民館会場
(第五中学校区域)
成人代表 神林杏花